

「タンポポ調査・西日本2010」実行委員会 第12回スタッフ会議報告

- 【日時】 2010年12月18日(土) 午後1時5分～4時30分
【場所】 大阪自然環境保全協会事務所
【出席者】 布谷(滋賀)、鈴木(兵庫)、佐藤・伊東・高島・木村・宮田・南(大阪)、久保田(奈良)、村田・今村(京都)、川村(三重)・内藤(和歌山)、狩山(岡山)、末広(香川)、小川(徳島)、井上(島根)、有川(鳥取)、松井(愛媛)、横山(福井) 以上14府県20名
【司会】 高島(大阪自然環境保全協会) 【記録】 木村(同)

【案件】

(1) 前回スタッフ会議の報告(第11回スタッフ会議報告2010.10.2参照)

- ① 日時 2010年10月2日(土) 午後1時～5時
- ② 場所 大阪自然環境保全協会事務所
- ③ 出席者 布谷(滋賀)、鈴木(兵庫)、伊東・高島・木村・宮田・佐藤・酒井・南・加藤(大阪)、久保田(奈良)、村田・今村(京都)、末広(香川)、小川(徳島)、井上(島根)、有川(鳥取)、松井・山本(愛媛)、横山・河端(福井)、藤川(高知)・狩山(岡山)、上赤(佐賀) 以上、14府県24名(欠席の府県：和歌山・三重・広島・山口・福岡)
- ④ 主な案件
 - ・各府県の調査サンプル数の確認(2010.9.29 現在): 52075、未処理分を加えると約55000点と推定。昨年度分(約21500)と合計すれば、約76000くらいと推定。
 - ・今後のデータ解析について一データ入力・瘦果の送付最終締切り：10月末日。
 - ・本調査結果について信頼性をチェックして問題のあるデータは各府県で再検討
 - ・調査報告書・カラーチラシの作成について：3月5日の報告会までには完成。
 - ・実行委員会予算について一現時点での会計報告、花博協会の助成金の活用
 - ・その他の検討事項(ホームページ・メーリングリスト・各府県の活動報告)
 - ・今後のスケジュール・当面の予定の確認

(2) 各府県の有効サンプル数(2010.12.10現在)とデータ解析

- ① 最終的な有効データの確認
 - ・2010年12月10日現在の有効データ数は、予備調査分：21555件(山口県を除く)、本調査分：52672件(昨年度未処理分も含む)の合計：74227件であり、種類不明のタンポポ659件を除けば、有効サンプル数は、73568件となる。このうち、雑種を含む外来種が40064件あり、有効サンプル全体の54.5%を占めることになる。

今回のデータ処理の経過

- ・各府県到着データから、無効データ・他府県データを除外して集計
- ・頭花がなくてタネが添付されたデータは(仮に)有効として集計→西日本全体の処理では無効とする(各府県の処理では府県毎に判断)
- ・頭花なし・タネなしデータは無効として除外
- ・他府県で採取されたサンプルのデータは、今年度分については、今後は「外来種やカンサイタンポポなど」、同定に問題がない場合は、データを送付して、相手の府県の事務局の確認を取ることとよい。その場合は、新しい整理番号はつけずに処理してください。なお、昨年度の分も同様にするが、判別が困難な種について、問題があればサンプルも確認することとし、できない場合は不明扱いとした。

番号	府県	在来種				雑種を含む外来種	不明	合計	予備調査有効データ	備考
		在来種合計	黄花二倍体	黄花倍数体	白花型在来種					
18	福井	259	167	61	31	710	7	976	431	
24	三重	1481	995	1	485	1031	41	2553	733	
25	滋賀	1057	850	25	182	1444	9	2510	936	
26	京都	945	740	100	105	1337	90	2372	674	
27	大阪	2034	1914	2	118	4320	8	6362	1340	
28	兵庫	1651	1391	101	159	4558	2	6211	4102	
29	奈良	1065	863	3	199	1377	1	2443	963	
30	和歌山	1284	1108	0	176	731	5	2020	822	
31	鳥取	265	62	70	133	2023	6	2294	240	
32	島根	1106	309	305	492	1820	1	2927	731	
33	岡山	4317	3097	101	1119	3612	390	8319	2883	
34	広島	771	162	41	568	2459	24	3254	419	
35	山口	385	44	17	324	654	3	1042	0	
36	徳島	5386	5125	37	224	1871	30	7287	1164	
37	香川	5222	5081	1	140	3049	5	8276	2413	
38	愛媛	3332	567	136	2629	4495	26	7853	2599	
39	高知	2568	70	122	2376	3470	5	6043	1101	
40	福岡	276	75	42	159	815	0	1091	0	
41	佐賀	100	14	3	83	288	6	394	0	
合計		33504	22634	1168	9702	40064	659	74227	21555	

② 今後のデータ解析について

一応、本日現在のデータで最終集計としたい。まだ、有効データをお持ちの府県があれば、お申し出ください。また、修正も現時点で終了としたいが、変更すべき重要な事項が発見された場合は、西日本事務局までご連絡ください。（なお、修正については、修正したものだけをお送りください）

③ 今回の解析について（前回の検討結果の確認）

- 1) 本調査結果について、まず、各府県で入力後にできるだけミスのないようにチェックを行うこと。その後、事務局のアドレスへ添付ファイルで送付。
- 2) 昨年同様に本調査結果の信頼性(緯度経度やメッシュ番号のチェック・・・海上や他府県など)をチェックして、問題のあるデータは各府県で再度検討する。
- 3) その後、府県別の基礎的なデータ処理を行なう。
 - ・基本マップの作成：3次メッシュでの種類別分布地図
 - ・各府県の種類別・生育環境別・総苞外片の状態別などの地点数(クロス集計)
- 4) それ以外のデータ処理について・・・昨年度の議論を踏まえて本日検討。
 - ・在来種と外来種の分布を同じメッシュに表示した地図(小川氏作成)
 - ・外来種(雑種を含む)の比率を示す地図……二倍体在来種が多い地域のみ。
- 5) 解析における種の区別（別紙参照）
 - ・内部での解析において取り上げる種と、報告書で取り上げる種の区別

④ 西日本全体での分布マップについて(本日の検討結果)

- ・小川氏(徳島)や伊東氏(大阪市大)から、分布データの解析方法に関する資料を出していただき、また、事務局からの環境との対応の解析例を出して、本日のスタッフ会議で意見交換を行ったが、どのよ

うな方法で解析すればいいかという具体的な案をまとめることはできず、以下のような結論となった。

- ・今回の調査で、調査対象地域において、二倍体在来種が多い府県と、ほとんど分布しない府県があることが明らかになった。その結果、大阪府などで環境指標として従来から利用してきた「メッシュごとの外来種の比率」は西日本全体では有効な指標とは言えない。そこで、報告書で用いる西日本全体のタンポポ分布マップは、原則として、各種類や各分類群の分布するメッシュを示すマップのみとする。
- ・タンポポの分布と生育環境との対応や、環境指標としてのタンポポの分布データの活用方法については、今後も検討していくこととなった。
- ・また、外来種の比率を示すマップが有効な地域では、各府県別の報告でそれを活用することは可能であり、過去の分布データがある府県はそのデータとの比較なども行っていただいてもよい（ただし、過去のデータの外来種の比率には、雑種の割合が考慮できないことに注意する必要がある）。

(3) 調査結果報告書の作成

① 調査報告書の作成について

1) 形式

- ・前回の近畿での2005年調査の報告書に準じる。
- ・A4判、150ページ程度(?)。2000部印刷予定で進めたい。
- *各府県50部ずつとしても1000部必要、すでに申し込みが約150部
- ・HPにもカラー版をアップする。
- *予算は、大阪自然環境保全協会からの助成金100万円と、花博協会からの助成金の一部を充てる。2社の印刷業者に見積もりを取った。以下は安い方の値。
A4判120ページ(口絵4ページ)並製本、表紙のみカラー、再生コート紙使用、2000部印刷で単価295円×2000部=59万円(3000部なら、228×3000=68.4万円)

2) 今後の予定

- 12月18日(土)：第12回スタッフ会議、一次原稿締切り→編集作業
- 2011年1月17日：2次原稿締切り→編集作業(1月25日には完成したい)
- 2月 1日：印刷業者渡し→中旬校正作業→2月末日納品
- 3月 5日：報告会で配布

今後、各府県で集約をお願いしたいこと：1月11日(月)締切(一次原稿参照)

1. 調査参加者の感想文：各府県10件程度抜き出してお送りください。
2. 各府県の調査実行委員の訂正(本日配布の報告書原稿から変更がある場合)
3. 主な調査参加者・参加団体の名簿(巻末資料として掲載)
4. 主な観察会や説明会など
5. マスコミでの報道一覧(新聞・放送社名、日時、タイトル)

3) 目次案(カッコ内は執筆担当者)と提出状況(○：完成、△：一部、×：未提出)

0. 表紙 → アイデアを出してください。(カンサイタンポポの分布図?)
1. はじめに(調査の目的・意義)
 - 1) 先行調査・研究の紹介
 - (1) 分類学的研究史(小川・鈴木・藤川)：△
 - (2) 西日本におけるタンポポ調査の経過(事務局)：△
 - 2) 目的(布谷・木村)：△
 - *用語について(小川)：○
2. 調査方法(事務局)

- 1) 調査の経過と組織体制 (*組織と実行委員の名簿を含む) ○
 - 2) 調査方法 (*調査用紙とサンプル処理マニュアルを含む) ○(一部△)
 - 3) 解析方法 : △
 3. (全体的な) 調査結果と考察
 - 1) 調査サンプル数 (事務局) : ○
 - 2) タンポポの種類と分布
 - (1) 検索表 (鈴木) : ○
 - (2) 種の解説と分布 (鈴木) : ×
 - (3) 各府県ごとのタンポポの割合 (小川) : ○
 - (4) 生育環境別のタンポポの分布状況 (事務局)
 - (5) 総苞外片・花粉の状態について (事務局) : ○
 - (6) タンポポから見た自然環境 (事務局) : ○
 - 3) 雑種タンポポについて (伊東他) : ○
 4. 各府県別の調査報告 (各府県4ページ×19=76)
 - 1) 福井県○ 2) 三重県○ 3) 滋賀県× 4) 京都府×
 - 5) 大阪府△ 6) 兵庫県× 7) 奈良県○ 8) 和歌山県△
 - 9) 鳥取県○ 10) 島根県○ 11) 岡山県○ 12) 広島県×
 - 13) 徳島県○ 14) 香川県○ 15) 愛媛県○ 16) 高知県×
 - 17) 山口県△ 18) 福岡県× 19) 佐賀県○
 5. 調査参加者の感想 (各府県10件程度抜き出してお送りください。事務局で集約)
 6. おわりに (布谷・木村) : ○
 7. 主な参考文献 (事務局で集約←各府県より) : △
- <巻末参考資料>
1. 主な調査参加者・参加団体一覧 : △
 2. 文献目録 : △
 3. 主な観察会や説明会一覧 : △
 4. マスコミ報道一覧 (主な新聞記事は収録) : △
 5. 著者一覧 : ×
- ・奥付け : ×

② カラーチラシについて

1) 形式

- ・予備調査時に作ったものに準じる。
- ・A3判両面(4ページ)カラー印刷。2つ折れ、再生コート紙使用
- ・印刷枚数：4～5万枚、印刷費用：5万枚印刷で9.7円×5万=485,000円で、
- *各府県で2000枚までは希望する枚数を配布、それ以上必要な府県については事前に予約を取って、必要な追加予算を負担していただく形で増刷する。
- 増刷の申し込み締め切り：1月末日。

2) 内容

- ・西日本のタンポポの種類と分布マップなど、調査結果の集約。
- ・担当・原案作成：鈴木氏

3) 今後の予定

- ・1月17日(月)：一次原稿締め切り→意見交換→1月末日：二次原稿締め切り

③ その他の報告・・・予定があれば報告ください

- ・1月21日(土) 住民参加型生物調査に関する研究フォーラム(琵琶湖博)
- ・2月6日(日) 西日本の博物館ネットワークの総会 (一部の結果を報告)
- ・3月5日(土) 西日本実行委員会の報告会 (於大阪市大梅田) ……案内は?
- ・3月19日～21日 植物分類学会での発表(鈴木・有川・藤川……?)
- ・これ以降は、中心となる発表者が、連名での発表の際には、関係者の了解を取って発表すること。

データについては、「タンポポ調査・2010西日本実行委員会」による調査結果に基づくものである旨を明記すること。また、必要に応じ、花博協会や大阪自然環境保全協会の助成金を受けたことを明記してください。

- ・また、今回の調査データを利用して発表された場合は、記録に留めておきたいので、MLで皆さんに流していただくか、事務局へご連絡ください。

(4) 実行委員会予算について (前回報告分+会計の宮田氏より当日報告)

① 収入 (2010年6月末日現在)

- ・収入：前回調査の残金(29万円)+下表の助成金(計236万円) +伊東氏の助成金(60万円)+報告書前金(約19万円)など

助成団体	金額	期間	申請	備考
1 西日本博物館ネット	10万円	1年	鈴木	6万円を事務局へ
2 武田科学振興財団	30万円	2年	木村	2010～2011年度
3 花の万博協会	100万	1年	鈴木	支出の半額を助成
4 大阪自然環境保全協会	100万	1年	木村	主として報告書印刷

② 今後の支出予定

- ・3月5日報告会の会場費(大阪市大文化交流センター)・講師謝礼交通費：8万円
- ・調査報告書印刷費と事前申し込み者や各府県事務局への郵送費(65万円)
- ・カラーチラシの印刷費用・郵送費(55万円)
- ・各府県への活動助成(各府県3万円×19=57万円)：未使用の府県(7府県)
- *以上合計：185万円。
- ・余裕があれば、3月5日の発表者の旅費など

③ 花博協会の助成金の使途について

- ・1府県につき、3万円(×19=57万円)まで可能。ただし、領収書が必要。
- ・領収書の品目は調査やデータ処理に必要な文房具などの消耗品
- ・交通費については、領収書があればそれを提出、ない場合の近郊区間については、別紙のような書式での提出や、自家用自動車利用もガソリン代領収書と移動区間+燃費の一覧表」でもOKです。
- ・賃金については、「データ入力」とし、1日：8時間6000円で申請しているので、1日：6000円か、半日：3000円、1時間800円で個人名(印)の領収書を作成してください。(書式は後日添付ファイルで送信)
- ・スタッフ会議の2週間前までに、西日本事務局(大阪自然環境保全協会)あてに領収書などをお送りいただければ、会議当日支払うことが可能(または、口座番号を連絡いただくと送金します)。

(5) そのほかの検討事項

① 「タンポポ調査・西日本2010」実行委員会のホームページについて

- ・スタッフ会議終了後、本調査の府県別調査数や会議報告をアップ。
- ・また、お送りいただいた各府県別報告の2次原稿を各府県のページにアップしたい(不都合な場合は連絡ください)。
- ・3月5日の報告会以後、報告書をアップ(報告書原稿とは別のカラー版をご用意ください)。

② メーリングリストについて (前回報告分)

- ・実行委員会用のMLは活用されているが、一般用のMLは書き込みが少ない。
- ・簡単なタンポポの話題でもいいので、活発に書き込みをお願いしたい。
- ・調査結果の概要もスタッフ会議で了解されたものを順次流していきたい。
- ・調査終了後もとりあえずはこのままにしておきたい。(中断すると再開が面倒)

(6) 今後のスケジュール

2010年12月18日(土)	第12回スタッフ会議：報告書原稿締切り
2011年 1月11日(火)	報告書の感想文や巻末資料データの締切り
1月17日(月)	報告書2次原稿の執筆締切→編集作業
1月末日	最終原稿の提出→印刷業者渡し→校正作業
2月12日(土)	第13回スタッフ会議
2月末日	報告書発行予定
3月5日(土)	調査結果報告会（於 大阪市大文化交流センター）
3月末日	助成金の事業報告・会計報告

<当面の予定>

① 第13回スタッフ会議……事務的打ち合わせ中心に実施。

- ・日 時：2月12日（土）午後1時～4時
- ・場 所：大阪自然環境保全協会
- ・内 容：報告書・カラーチラシの最終校正・報告会の打ち合わせ（次第と役割分担）

② 「タンポポ調査・西日本2010」調査結果報告会

1. 日時：2011年3月5日(土) 午後1時受付開始、1時半～4時半

2. 場所：大阪市大文化交流センター(大阪駅前第2ビル6階研修室)

*収容人数：120人……宣伝しすぎると、入らない恐れもある。基本的には調査関係者にのみに流すということしていきたい。

3. 内容

- ・あいさつ：布谷知夫代表
- ・調査報告①調査の経過・方法：木村、②調査結果：鈴木武・小川・狩山
- ・助言(コメント)+講演会「西日本におけるタンポポの分布と課題」
講師：森田竜義氏（新潟大学元教授）……了解済み

*アクセス：JR東西線「北新地駅」より1分、「大阪駅」より3分

地下鉄「西梅田駅」・「東梅田駅」より3分

阪神「梅田駅」より2分、阪急「梅田駅」より7分

*終了後、近くで懇親会を行う予定です。